



精算方
檢查寮
章程摘譯

3391



114
A2290

検査寮章程摘譯



第一検査寮原由并ニ履歴之事

畧之

第一検査頭職掌畧記并ニ分課ノ事

第一検査頭ハ遣拂ヲ除ク、外恣ニ海關稅ヨ
リ取立ル歲入取集方并ニ之ニ関涉スル諸件
ヲ直ニ管スルノ任アリ依テ第一并ニ第五精
算方及ニ地所掛長官ニテ算入ニタル勘定書
并ニ證書類ヲ相当ノ時限中其筋勘定方ニ差
出ニ方ノ儀ヲ收稅方其他公金受拂ヲ為ス者

大正十一年四月
大隈侯爵
贈月

大正十一年四月

へ布達ヲ為スヘシ其勘定書ハ検査頭ハ決算
 ヲ以テ結局ト見做スヘシ若布達ニ隨テ其勘
 定書ヲ差出サバ爾時ハ大蔵省代訴人へ出納
 簿冊上殘金ノ正寫ヲ送り其者ヲシテ公裁ヲ
 經ル手續ヲ為サシムヘシ第一第五精算方
 又ハ地所掛リ長官ニテ正算セシ勘定書中ノ
 殘金ヲ集稅方其他公金受拂人ヨリ納メ方ヲ
 怠リ或ハ否ミ之節ト同様タルヘシ且精算延
 引ニ及ヒテハ合衆國ノ為妨ケナリト推考ス
 ル時ハ第一第五精算方並ニ地所掛長官ニ命

之各管掌スル所ノ勘定書ヲ速ニ精算ヲ為サ
 シムヘシ 第一第五精算方ニテ精算ノ上再
 查ノ為差出シタル文官諸省并ニ外國交際関
 係諸省ノ勘定書ヲ受取り又地所掛長官ニ
 テ精算ノ上再查ノ為差出シタル地所取締役
 所ノ勘定書類ヲモ受取ルヘシ而シテ其申請
 ヲ承認シ或ハ變換シ又ハ停罷スヘシ又殘金
 等ヲ證明シ收受ノ為出納頭へ傳票手續ヲ
 為スニ於テ其寫ヲ大蔵卿へ差出ス事ヲ記録
 頭へ證ス 決算シタル諸勘定書類ヲ其證明

書ト共ニ大藏記録頭へ送致シ其保存ヲ司ト
 ルヘシ 大藏卿ノ印可ヲ受ル為メ諸勘定書
 類ニ關係ノ公文雛形其他之ヲ保存并ニ具狀
 等ノ方法ヲ上陳スヘシ 取違察ノ為メ大藏
 大藏省精算方ニテ精美ノ上決算ニタル同察
 ノ勘定書類決算ニ付テハ取違頭或ハ其他ノ
 者ニテ右決算勘定書ニ付不伏ニテ其決算ノ
 後十二ヶ月以内検査頭へ訴フル時ニ限り第
 一検査頭ハ其裁判ノ権力ヲ有スヘシ 一般
 金庫ノ金銀出納共大藏卿ヨリ出シタル傳票

へ捺印ヲ為スヘシ但シ取違察金庫トハ自ラ
 區別アルヘシ 第一検査頭ハ受取人金銀受
 拂入集稅方巡察方領事官等ノ奉務證券并ニ
 歳入ニ關係シテ證券ヲ差出スモノ、證券及
 ヒ政府交際上ノ勘定書等ノ可否ヲ論之ヲ
 承認セ又之ヲ管守シテ其役所へ備置クヘシ
 大藏卿掌管事務ノ内職制ノ畧記ハ區分ト
 題セシ第二節ノ二章ノ趣旨ハ検査頭ノ職掌
 并ニ管掌スル所ノモノニシテ此下ニ記載ス
 ル分課ニ全ク適用スヘキモノナレハ概ク前

文ニ譲リテ茲ニ詳記セズ然レトモ茲ニ記載
 スル所ノ各課各局ノ數巨クアルトモ其中ニ
 ハ其各課各局ニテ為ス所ノ事務閑ニミテ其
 分課中多ク只一人ノ勘定方ニテ足レルモノ
 ヲリ故ニ古多數ニ分課スルハ實ニ無益ニ當
 ルト雖モ其各課各局ハ大小トナリ自ラ區分
 ヤル故ヲ以テ之ヲ合併セズ各其課ヲ分テ置
 ク事ヲ許セリ

第一 貿易航海并ニ海関稅ニ關涉ノ役
 所

- 第二 證券并ニ鈔書貯蓄ノ役所
- 第三 歲入納入ノ傳票ニ關スル役所
- 第四 定額金傳票ニ關スル役所
- 第五 拂出ニ傳票ニ取扱ノ役所
- 第六 出納頭引受々々ノ歲出入勘定ノ役所
- 第七 海関稅勘定ノ役所
- 第八 燈臺寮諸勘定ニ關スル役所
- 第九 海軍病院ノ勘定ニ關スル役所
- 第十 俸祿ニ關スル役所

第十一 海岸測量關係ノ役所

第十二 地所拂下勘定ニ關係ノ役所

第十三 公地測量ノ計算ニ關係ノ役所

第十四 地所拂下代ノ二分三分并ニ五分

計算ニ關係ノ役所

第十五 内國稅并ニ直稅計算ニ關係ノ役

所

第十六 專賣免許手續料計算ニ關係ノ役

所

第十七 造幣寮ノ計算ニ關係ノ役所

第十八 雜稅ノ計算ニ關係ノ役所

第十九 公金預ケ所ノ計算ニ關係ノ役所

第二十 外國交際ノ入費計算ニ關係ノ役

所

第二十一 諸官省官負俸給ノ計算ニ關係ノ

役所

第二十二 臨時費計算ニ關係ノ役所

第二十三 國債計算ニ關係ノ役所

第二十四 過ケ取立ル金銀下床ノ計算

ニ關係ノ役所

第二十五 殘金ノ畧記ニ關スル役所

イ印

海關稅則貿易規則并ニ收稅ノ方法等ノ儀
ニ付千八百四十四年マテ大藏卿ト共ニ相
預リテ第一檢査頭ヨリ直ニ指揮スル件
々

第一

檢査頭ハ集稅方、海軍士官等、收稅ノ法設
立并ニ施行其他其法施行ノ際一般ノ職掌

ノ事ニ付指令ヲ為ス

第二

船目錄ガノ書類ヲ渡シ或ハ取消^ハ手續ニ
付其雛形并方法ヲ示シ及ヒ其書留ヲ為シ
置キ之ヲ四季ニ記録頭ハ差出シ方ヲ指令
ス

第三

檢査頭ハ燈臺ノ事ヲ管スル長官ナル故ヲ
以テ其職掌并ニ之ニ關スル諸雛形并方法
ヲ集稅方ハ示シ四季ニ其勘定書ヲ第五精

算方、差出し方ヲ指令ス但第五精算方ハ
尚第一精算方へ正算ノ為メ送ルハシ

第四

検査頭ハ海軍病院ノ取扱ヲ為スヲ以テ其
職務上ノ事并ニ之ニ関スル諸雛形方法等
ヲ集稅方ニ示シ正算ノ為メ第一精算方、
四季ニ其勘定書類差出方ノ事ヲ指令ス

第五

税関船荷ノ告書、輸出入品届并ニ輸出入ノ
積荷目録其他船目録往來手形等差出ニ方

手續及ニ外國人名籍届方并ニ外國ヨリ貧
民移住ノ届方等ノ事ヲ集稅方へ指令シ之
ニ関シタル事件ヲ記録頭へ報告スヘキ其
雛形等ヲ示ス

第六

外國貨幣比較ノ價位ヲ規定シ并ニ其報告
ノ手續及ニ合衆國へ向ケ來ル荷物送り状
ヲ證明スル等ノ手續ヲ外國ニ在ル領事官
并ニ貿易取締役ニ指令ス

第七

合衆國諸港ニ於テ税額法ノ一般差異無カ
ラシメサルカノ集税方并ニ其他税関官負
ノ心得トシテ定期ヲ追ヒ輸入税ノ歩合ヲ
載セタルイロハ分ケノ税額表ヲ布達ス

第八

輸入品改方并ニ價位監定ノ事^{及ヒ}税録取
立方等ノ事ヲ指令シ而シテ之レニ關シテ
備ヘ置ヘキ簿冊并ニ勘定書^ハ雛形ヲ示
シ其歲入ノ報告書ヲ四季ニ差出ス事ヲ集
税方并其他税関役員ヘ指令ス

第九

頭税并ニ其他諸入費ノ割合^{及ヒ}取立方ノ
手續ヲ指令シ之ニ關シテ備ヘ置ヘキ簿
冊勘定書^類ノ雛形ヲ示シ及ヒ之レヨリ取
立ツル所ノ歲入ノ報告ヲ四季ニ差出スヘ
キ事ヲ集税方ヘ指令ス

第十

收税ニ於テ偽欺ノ所為アラニテ防止スル
事ニ付見張り船ノ指揮官并ニ巡察方^ハ
指令ス

第十一

既ニ許可シタル拂方并ニ其四季ノ報告ノ事及口議院ノ上申ノ為メ俸祿ノ勘定書ト差出シ方ノ事ヲ集稅方并ニ其他ノ稅關役負メ指令ス

檢査頭ハ又前條ニ關係ノ事務ニ付其他ノ雜事ニ於テ巨細ノ指令ヲ為ス

口印

第一精算方ヨリ正算ノ止^上差出シタル簿冊

勘定書類ヲ第一檢査頭ニテ再査ノ事

畧之

八印

第五精算方ヨリ正算ノ上差出シタル簿冊勘定書類ヲ檢査頭ニテ再査ノ事

畧之

二印

地所掛長官ヨリ正算ノ上差出シタル簿冊

勘定書類ヲ検査頭ニテ再查ノ事

畧之

木印

大藏卿ヲ經テ議院ヘノ報告并ニ上申ノ事

畧之

ハ印

第一検査頭役所ヘ備置スルキ簿冊ノ事

畧之

右附録ノ事

畧之

第二検査寮廢置ノ原由并ニ履歴ノ事

畧之

第二検査頭第二検査頭職掌畧記并詳ノ事ハ海陸軍省ニ関係シタル公金ノ

受拂ヲ為ス者へ相当ノ期限内ニ其勘定書類

并ニ證據ノ書類等ヲ其筋但第二第三第四ノ内精算方

へ正算ノ為シ差出シ方ヲ布達スヘシ其決算

ニ於テハ第二検査頭ノ決ヲ以テ局ト見做

スヘシ若其布達ニ隨ヒ前書勘定書類ヲ差出

サ、ル時ハ正算ノ上大藏省へ可納殘金ヲ怠

リ或ハ否之ニ節ト同様大藏省附代訴人へ殘

金ノ正寫ヲ送り以テ其者ヲシテ公裁ヲ経ル
 手續ヲ為スヲ命スヘシ且延引セハ合衆國
 ニ損害アルト推考スル時ハ何等ノ勘定書ヲ
 問ハス其筋精算方へ速ニ正算ノ儀ヲ命スヘ
 シ
 第二検査頭ハ再查ノ為差出シタル海陸軍省
 ノ諸勘定書類ヲ受取り之ヲ承認シ變換シ又
 ハ之ヲ差戻スヘシ○彼承認セシ勘定殘金ヲ
 大藏省へ納入ヲ要スル為其勘定^書差出シタ
 ル省ノ卿ニ證明スヘシ或ハ其命ヲ受ケシ其

筋役人ヨリ納入スヘキ旨ヲ命スヘシ且彼ノ
 結局ノ決ヲ為シタ^ル諸勘定書類ヲ其證明書
 ト共ニ元ト差出シタル精算方へ送致スヘシ
 ○海軍卿又ハ陸軍卿ヨリ大藏省へ差出シタ
 ル金銀受取ノ諸連書へ記名スヘシ○両省中
 公金受拂ヲ為ス各課ニ用ユヘキ書式雜^形等ヲ
 右両省ノ卿へ具状スヘシ而シテ總ラ公金ノ
 勘定書ヲ再查シ其保存ヲ管司スヘシ○第二
 検査頭ハ又海陸両省ニ關係シ金銀出納ヲ為
 ス者其他證券等ヲ差出シ或ハ約定等ヲ為ス

者ノ奉職證券并ニ約定書ヲ管守ス且又彼レ
 カ役所ノ各事ニ屬スル簿冊ヲ備置クヘシ
 第二検査寮ノ事務取扱ニ於テ其書記生分配
 方等ハ左ニ記載スル分局分課或ハ支課ニ區
 別ス尤第二検査寮書記生ノ人負ニ比スレハ
 其分局分課等多数ナリ故ニ分課ノ内多クハ
 只一人ノ書記生ノ引受ルアリ然レ共其一人
 ニ委任セシ各事務差異アルヨリ分課ヲ設ケ
 置クヲ一般之ヲ便宜トス

第一 指令ノ役所

第二	奉職證券并ニ約定書書留ノ役所
第三	海陸軍費用金書留ノ役所
第四	印度人事務ノ計算ニ関スル役所
第五	印度人ノ内子カサワ人種ニ関スル役所
第六	陸軍勘定役ノ計算ニ関スル役所
第七	陸軍輜重方ノ計算ニ関スル役所
第八	陸軍武庫ノ計算ニ関スル役所
第九	陸軍新兵ノ計算ニ関スル役所

一部

第十 諸雜費ノ計算ニ関スル役所

第十一 陸軍建築方ノ計算ニ関スル役所

第十二 河海建築方ノ計算ニ関スル役所

第十三 食料方ノ計算ニ関スル役所

第十四 輜重方ノ計算ニ関スル役所一部

第十五 陸軍養老銀取扱人ノ計算ニ関スル役所

ル役所

第十六 軍事諸般ノ請求ニ関スル役所

第十七 海軍ニ関スル役所

所

第十八 海軍出納役ノ計算ニ関スル役所

第十九 海兵ニ関スル役所

所

第二十 海兵輜重方ノ計算ニ関スル役所

第二十一 海軍新兵ノ計算ニ関スル役所

第二十二 橋立木保護ヲ司ル役所ノ計算ニ

関スル役所

第二十三 海軍養老銀勘定方ノ計算ニ関スル役所

ル役所

第二十四 諸勘定并残金書留ニ関スル役所

イ印

海陸軍省ニテ金銀遺拵ノ勘定書備置方并ニ差出方ノ書式雛形ニ関係シ第二検査頭ヨリ指令スヘキ件

第一

第二検査頭ハ軍艦ノ指揮官勘定方等心得ノ為メ大蔵省ニテ正算勘定書類差出方及テ貯蓄方ノ規則并ニ雛形等ヲ示スヘシ

第二

第二検査頭ハ印度事務省^局ノ定額金遺拵ニ

付一般ノ計算法ニ於テ異同無カラシメシカ為大蔵省ニテ正算スヘキ其勘定書類差出ニ方其他貯蓄方等ノ方法并雛形ヲ印度事務省ニ勤仕ノ出納掛役負ヘ示スヘシ

第三

第二検査頭ハ海陸両省ノ養老銀計算ヲ為ス者一般取扱方ヲ指令シ且右両省ノ養老銀ヲ受ル者へ渡シタル拵ニ方ノ勘定書ヲ正算ノ為メ大蔵省へ差出ニ方并貯蓄方ノ雛方等ヲ示スヘシ

口印

第二精算方ニテ受取り正算ノ上第二検査頭ノ再查ノ為差出スヘキ勘定書類ノ事

畧之

第三精算方ニテ受取り正算ノ上第二検査頭再查ノ為差出スヘキ勘定書類ノ事

畧之

海軍省諸役所ノ手續ヲ經ス第四精算方ニテ受取り正算ノ上第二検査頭再查ノ為差出スヘキ勘定書類ノ事

畧之

口印

第二検査頭ヨリ報告ヲ為スヘキ件々ノ事

第一

第二検査頭ハ第一月一日ニ於テ西院ニ報告ノ為其前年仕拂セル陸軍省定額金ノ年報ヲ陸軍卿ニ送ルヘシ右年報ハ前年一月一日迄定額金遣拂殘金前年中返納操越ノ高其年ノ現費ニ充テシ高并ニ年内大歳



省ヨリ受取タル金高及こ其年ノ十二月三十一日ニ至ラノ残金其他別段取除ケ置タル準備金ニ充フヘキ金高等ノ勘定ヲ標出セシモノナリ

第二

検査頭ハ第一月一日ニ於テ兩議院ヘ報告ノ為メ其前年仕拂セシ海軍省定額金ノ年報ヲ海軍卿ヘ送ルヘシ右年報ハ前年一月一日マラ定額金違拂残金前年中返納繰越ノ高年内現費ニ充テシ高并ニ年内大蔵省

ヨリ受取タル金高及こ其年ノ十二月三十一日ニ至ルノ残金其他別段取除置タル準備金ニ充ソヘキ金高等ノ勘定ヲ票出セシモノナリ

二印

第二検査寮ニ充備スヘキ簿冊ノ事

畧之

精弄方章程摘譯

第一精弄方役所廢置ノ原由并ニ履歷ノ事

畧之

第一精弄方職掌ノ畧記并ニ分課ノ事

第一精弄方ハ文官諸省ニ關係スル勅定書類ヲ受取り之ヲ正弄ス其大畧ノ區分左ノ如ク

第一 三ヶ月毎ニ差出スヘキ租稅收受并

ニ諸入費差引ノ勅定書類

右ハ輸入稅、内地諸稅、直稅、造幣ノ勅定令、

国ノ至銀出納役ノ勘定等及シ貸金紙幣文
他ノモノヨリ收受スル増殖金ノ勘定書類
ニシテ三ヶ月毎并ニ一ヶ年毎ノ差引勘定
ヲ立テ残金ヲ其次ノ三ヶ月毎ノ勘定書
元へ揚出スヘシ

第二 文官諸省ノ定額金ト名稱シ其受拂

役へ前渡しシ又ハ其者ニテ遣拂シ三

ヶ月毎ノ勘定書類

右ハ議政行政司法ノ諸省地方廳并ニ政府
所轄ノ教院等総テ軍事ニ関係ナキ文官諸

省ノ勘定類ヲ正算ノ上其残金ヲ次ノ三ヶ
月毎ノ勘定書元ニ立ソヘシ且又各省受拂
人ノ手ヲ経テ臨時大蔵省ヨリ直チニ拂
シ一種ノ役負給料勘定書ヲモ正算スヘシ
但其給料ハ精算方ニテ正算ノ上検査頭
承認シ之ヲ大蔵記録頭へ證明シ又右拂
出シ傳票ノヲ記録頭ヨリ大蔵卿へ其寫
ヲ證明セシモノナルヘシ

第三 公債支消取除ケ金ト名稱シ其受拂

役前渡しシ又ハ其者ニテ仕拂ヤシ

三月毎ノ勅定書類

右勅定ノ残金モ亦次ノ三ヶ月毎ノ勅定元
ニ立ヘシ且受拂役ノ手ヲ経ス臨時ハ大蔵
省ヨリ直々ニ拂ク出シタル市民ヘノ取定
或ハ其請求ヲモ正美スヘシ最右ハ精算方
ニテ正真ノ上検査頭檢印記録出納ヲ経ラ
傳票ノ手續ヲ為セシモノナルヘシ

第四 税銀ノ納過、税関役負別段手當、海軍
病院ニ関係ノ諸費、燈臺ニ関係ノ諸
費、海岸測量ニ関係ノ諸費、度量衡ノ

諸費ノ為差出タル集稅方三ヶ月毎
ノ勅定書類

第五 專賣免許事務取扱長官ノ三ヶ月毎
ノ勅定書類

第六 議院特別ノ布令ニ從ヒ其為取除置
タル救助金ノ勅定書類

第七 政府ト取引上或ハ^{政府}勤仕ヲナシタル
其勞ニ付役負或ハ市人ヨリノ請求
勅定書類

勅定書類ニ請求書等ヲ正美シ其公務上程度

ヲ為シ報告ニ差出シ、書留ノ簿冊ヲ管守シ其
他之ニ関スル書記生勤務ヲ為サシムルカノ
其事務ヲ四課ニ分チ以テ區別ヲ為ス各課其
責ニ任スルノ長官アリテ要用丈ケノ書記生
ヲ使用シ其監督ヲ為ス分課左ノ如シ

第一 海關稅等ヨリ取立ル所ノ歲入勘定
ニ関スル役所

第二 文官諸省ノ受拂役勘定書ニ関スル
役所

第三 國債支消ニ付仕拂勘定ニ関スル役

所

第四 未定公債ノ如キ確定セサル請求ノ
勘定ニ関スル役所

第一 精算^分ハ勘定帳正算ノ事ニ付左ノ報告
ヲ為ス

第一 各正算ノ諸勘定帳ノ差引ヲ立其證
明書ト證書類トヲ添へ結局ノ正算
ヲ受クル為メ第一検査頭へ別ニ報
告ヲ為ス

第二 精算方役所ニ使役スル書記生ノ人

負^其勤務ニ附カシメタル時日各人一度シタル手当等ノ年報ヲ大藏卿へ出ス

第三 翌年ノ精算方役所ノ臨時入費并ニ俸給ノ概算報告ヲ記録頭へ出ス

第四 前ニケ年間其役所ニテ使用セシ人名、生國、住所、手当等ノ表ヲ作り内務省ニテ貯蔵スヘキニケ年毎ノ記録ニ書入ノ為其報告ヲ大藏記録頭へ出ス

第二精算方職掌畧記並ニ分課ノ事

畧之

第二精算方ノ職掌ハ千八百四十年大藏卿へノ書翰ニ明白ナリ其書翰中ニ曰ク第二精算方ノ職掌ハ陸軍ノ俸給、衣服、士官ノ賄并ニ馬飼方、新兵徵集ノ入費及ニ病院ノ用度品、陸軍省ノ臨時費、武庫司ノ勘定其他裝軍ノ諸入費、半給養老銀拂殘ノ請求、軍卒并ニ隨意兵ノ俸給并ニ手当及印度事務ニ關係ノ諸勘定書類ヲ受取り之ヲ正算ス

右勅定書類ノ内士官ノ俸給、賄并ニ馬飼料、從
僕ノ手当、下等士官等ノ俸給、別段手当、衣服料
其他兵卒ノ俸給等陸軍勅定役々ニテ差出ス
勅定書類ニ報スヘキ分ハ其^省勅定役控轄ノ
手ヲ経テ精算方ヘ送ルヘシ
印度事務ニ関係ノ歳出ハ其各事ニ委托セル
モノヨリ差出ス勅定書ヲ以テ印度事務主宰
ノ手ヲ経テ此役所ヘ差出スヘシ
陸軍衣服并ニ屯營ヲ用度品ノ勅定ハ輜重方
頭取ヨリ達シ并ニ武庫司及ニ軍医局ノ歳出

勅定書類ハ其司局ノ長官ヲ経テ此役所ニ達
ス
新兵徵集ニ関スル士官ノ勅定書、病死ノ士官、
兵卒或ハ年期濟兵卒ノ代人等ヨリ諸求其他
半給養老銀等ノ請求ハ其当人或ハ代人ヨリ
直チニ受取ルヘシ
陸軍會計役控轄ニテ受取タル會計役ノ勅定
書ハ其前決算ノ後遣拂ヒタルモノヲ悉ク載
セ之ニテ證據書類ヲ添ヘ辨^明取^付ニ隨ヒ其勅定書
ヲ差出スヘシ右證據書類ト云フハ陸軍士官ノ

俸給勘定、俸給ヲ渡シタル兵卒各隊ノ人負附、
并ニ受取帳及、役所ヨリ渡シ置タル脱籍兵
卒ノ負致證書類ナリ且前決算ノ後政府或ハ
人民ヨリ受取タル諸金ヲ計算方借方トシ或
者ヨリ各所計算ノ役負ヘ渡シ又ハ拂出シタ
ル者ヲ貸方トシ勘定書ヲ作り各負ノ請取證
ヲ添ヘ共ニ差出スヘシ

右勘定書類ヲ検査ノ際證書類ヲ馬ト律并ニ
規則ニ照合シ違算并ニ規則ニ悖リテ拂ヒシ
モノヲ引去リ其残高ヲ勘定書ニ記シ其勘定

書總計高ヲ改正シ而シテ其計算方ヘノ貸方
トス又其計算方ハ其時其金高ヲ他ノ計算方
ヘ引渡セシ金高ノ為貸方トス其拂方ヲ負ヒ
シ士官ハ次ノ拂ヲ受取^ル計算方ヘ其金高ヲ
返辨スヘシ○前書勘定帳ノ内前決算ノ節ノ
残金并ニ前渡し金或ハ其以後渡しタル金高
ト其計算方ノ負債タルヘシ依テ右等種々ノ
金高ハ其次ノ勘定帳決算ノ節残金ヲ書載シ
置クヘシ

検査済ノ上役人ヘ拂切^ルノ分ハ其節記録ニ

載セニ重拂等無カラサル後証トシテ日附并
拂期限金高ヲ拂渡シタル計算方ノ姓名并ニ
其記録ヲ為ス決算ノ日限ヲモ書留備置クハ
シ右同様ノ手續ヲ以テ死去兵卒ノ名ヲ右勘
定帳ニ添フ人名録ヨリ書抜ク口ハ分ニシテ
別冊ニ記シ其計算方ノ姓名并当人附屬ノ隊
名及ニ終尾ノ拂日限并ニ死去ノ日ヲ記シ置
クヘシ此記録ハ後日死去マシ兵卒ノ代人請
求決算ノ節見合ノ為メ備置クナリ右死去ノ
モノ請求ヲ計算方ニテ拂フ事ハ此下ニ説明

スル如ク大蔵省會計方役員ニテ正算ノ上證
明セサル以上ハ規則ニ依テ禁止セルナリ
右ノ如ク出来シタル勘定書ハ正算ノ後精算
方ニテ證明シ公書并ニ證書類ヲ添ヘ算決ノ
裁判ヲ受クル為メ第二検査頭ニ送致スヘシ若
其勘定書ヲ承認セシ時ハ精算方證明書ノ未
ニ検査頭其名ヲ記シ承認ノ鈐印ヲ為スヘシ
第二検査頭ノ承認鈐印濟ノ上精算方役所へ
再ニ戻リタル節ハ其精算方ヨリ勘定帳算決
セシ旨ノ報知書ヲ陸軍計算方士官へ送ルヘシ

其書面中遺拂残金其他若許可スヘカラサル
 モノアリシ時ハ其譯柄等^ハ認メ勘定帳中ヨ
 リ引去リタル情実ヲ巨細ニ載セ右承認セサ
 ル證書類ト共ニ送ルヘシ其書面ノ字ヲ其決
 美勘定書ト共ニ此役所ヘ留置ヘシ
 陸軍附属物品勘定書ハ陸軍一般ノ規則ニ載
 スル所ノ雛形ニ隨ヒ表ヲ作り士官ニテ銘々
 預リノ物品各種ヲ區分シ何日誰ヨリ受取り
 何日誰ヘ其内ヲ引渡シ又何程公務ニ遺拂何
 程手許ニ残リ其次ノ表ノ元ニ組入ルヘキハ

何程ナルヤヲ巨細ニ記載シ差出スヘシ
 印度理事官ヨリ受取タル勘定帳決算ノ儀モ
 前書ノ手續ト同様タルヘシ
 前書遺拂ノ勘定帳ハ現在^存ノ規則ニ隨ヒ相当
 ノ直段書并ニ受取書ヲ添ユヘシ若之ニ違背^違
 スル時ハ其段ヲ右勘定書ヘ記シ其規定ニ及
 シ拂ヒ出シタル金高ト違算ノ高等ヲ勘定帳
 ヲリ引去リ陸軍會計方ノ勘定書類ト同様其
 残金ヲ計算方ノ貸ニ立テ之ニ證明書并ニ證
 書類ヲ添ヘ算決ヲ受ヨル為第二検査頭ヘ送

ルヘシ而シテ検査頭檢印済此役所へ戻リシ
 片ハ前文算決ノ報知ヲ右計算方へ送ルヘシ
 右遺拂ヒ勘定帳決算ノ後ト虽モ物品ノ儀ハ
 指令ニ依リ其品ヲ預ルヘキ士官へ隨ニ引渡
 シ或ハ公用ニ供シタル事ノ確證ヲ差出サ、
 ル迄ハ其士官ノ責ヲ免ルヘカラス
 決算ニ於テ手許ニアル物品ノ残餘ヲ異勘ニ
 立テサレ士官ハ其物品ノ代價ヲ以テ其者へ
 貸ニ立テ役所ノ簿冊ニ記載シ其高ヲ大藏省
 へ返納セシムヘシ若シ之ヲ否ム即陸軍士官

ナレハ第一検査頭ノ指令ヲ以テ陸軍會計方
 監督ノ手ヲ経テ其金高ヲ士官ノ給料ノ内ヨ
 リ差引クヘシ若シ陸軍士官ニアサレサル片ハ
 其金高ヲ第一検査頭ニ報告シ公裁ヲ經ルノ
 手續ヲ為スヘシ

新兵徵集ノ費用ニ充テタル金額ハ陸軍卿ヨ
 リ大藏卿へノ達書ヲ以テ追々其要用ニ隨ヒ
 數口ニ陸軍會計方へ前渡しスヘシ右會計方
 ハ徵兵勘定帳ノ雛形ニ隨ヒ月々新兵ノ人負
 姓名其入費ノ報告ヲ證書ト共ニ差出スヘシ

且其會計方ノ手ハ受取タル金高時日并ニ渡
シタル人名及ヒ遣拂ヒノ高クモ記入スヘシ
徴兵勘定書ニ添フ人名録并ニ證書類ヲ寫シ
照合シ一般ノ規則ト比較シ相違^違ナケシハ勘
定書報告ヲ作り徴兵費ノ差引ヲ立テ會計
方ノ貸借ヲ明ニシ之ヲ算決ノ為通例殘金證
明書ト共ニ第二検査頭ハ差出スヘシ其檢印
濟ノ上其段ヲ會計方ノ報知スヘシ然ル後新
兵ノ人名ヲ雛形ニ隨ヒ其為ノ設置ノ簿冊ニ
記入スヘシ

陸軍ノ死去士官又ハ^死兵卒ノ代人或ハ年季濟
ノ兵卒等ヨリノ請求ヲ陸軍會計方ニテ拂方
ヲ為サシテ此役所ニ受ケシクハ人名録ト照
較シ若シ渡シ残り等アラハ其計算ヲ立テ雛
形ニ隨ヒ證明書ヲ作り之ヲ請求ノ證書ト共
ニ算決ヲ受クル為第二検査頭へ送致スヘシ
検査頭檢印ノ上此役所ニ戻リシ時ハ右證明
書請求ノ当人へ送り其證明書中ニ書載セル
會計方へ持行拂ヲ受取ラシムヘシ此拂方ノ
方法ハ千八百三十一年第十一月十二日ノ陸

軍省規則ニ隨テ設ケシモノニテ千八百三十
二年第一月二十四日第二検査頭ニテ承認セ
シモノナリ

前書規則外ノ勘定類ニテ平人へ拂フヘキ金
高等アル時ハ精美方ニテ證明書ヲ作り之ヲ
第二検査頭ニテ檢印濟ノ上陸軍卿ヨリ大藏
卿へノ達書ヲ出スヘシ茲ニ於テ大藏卿其請
求人ノ為傳票ヲ出スナリ

右同様ノ振合ヲ以テ陸軍會計方へ渡スヘキ
金銀陸軍卿ヨリ大藏卿へノ達書ヲ以テ右會

計方ノ為大藏卿ヨリ傳票ヲ出スナリ其會計
方ハ右金銀遣拂方ノ責ニ任スヘシ

大藏省へ達ニ依テ前ニ渡シタル金銀并ニ拂
方又ハ請求人ヲ論セス會計士官又ハ請求人
へ直渡シ或ハ郵便送りヲ論セス總ラ其受取
ヲ此役所ニ留置クヘシ

前ニ云フ達書ハ總テ雛形ニ隨テ簿冊ヲ設ケ
置之レニ書留メ置クヘシ且検査頭承認ヲ受
タル總テ勘定ノ決算ハ役所ノ日記簿へ雛形
ニ隨テ記入シ置クヘシ役所往來ノ書類ヲモ

書狀簿へ載せ置けし

前書勘定并請求取調方并定額金并連書
等ノ簿冊貯蓄方諸往復書報告書其他勘定書
及請求付書記生ノ勤務ニ関スル諸簿冊
取扱方ニ付課ヲ分ツ左ノ如シ

第一 諸勘定帳備置ノ役所

第二 印度事務ニ関スル勘定ノ役所

第三 印度人種ノ為備金勘定ノ役所

第四 陸軍俸給勘定ノ役所

第五 武庫司ニ関スル勘定ノ役所

第六 衣服并装軍諸式勘定ノ役所

第七 医家并病院ニ関スル勘定ノ役所

第八 新兵徵集ニ関スル勘定ノ役所

第九 雜費勘定ノ役所

第二精算方ハ左ノ報告ヲ為ス

第二 検査頭ノ報告ノ件

第一 物品遣拂勘定ヲ除クノ外印度事務
掛ノ仕拂勘定書類并陸軍ノ仕拂
諸勘定書類ヲ結局ノ決算ヲ受クル
為メ第二検査頭へ報告ス

第二 印度事務局并ニ陸軍ニ在ル諸會計方ニテ律ノ通り金銀仕拂并ニ物品遣拂勘定書ヲ差出サ、ル者ハ姓名ヲ三ヶ月毎ニ第二検査頭へ報告ス
 第三 訴ヲ起スニ付大藏省代訴人用、為其役所中結末ヲ為サ、ル印度事務局并ニ陸軍省等ノ計算残金ノ正寫ヲ第二検査頭へ三ヶ月毎ニ報告ス
 議院へ報告ノ件
 第一 印度事務局會計方ニテ仕拂ノ諸勘

定帳ノ寫ヲ會計方ノ姓名并ニ金銀受取達書ノ日限及ヒ番号等ノ表ヲ添へ年々議院へ報告ス
 但陸軍勘定帳ハ議院へ報告ヲ為サス
 第二 陸軍ニ関シ其省ノ士官ニテ仕拂ヒタル臨時ノ遣拂ヲ年々議院へ報告ス
 第三 第二精算方役所ニ関シ仕拂タル臨時ノ遣^拂ヒヲ年々議院へ報告ス

第四 開院中議院ノ下問ニ依リ印度事務
局諸勘定ニ關係ノ事件并ニ同断陸
軍勘定向ノ事ニ付議院ヘ別段ノ報
告ヲ出ス

陸軍卿ヘ報告ノ件

第一 議院集會ノ前陸軍并ニ印度事務ニ
關係ノ勘定書ニテ年内決算ニ成ラ
サル勘定書ノ負數ヲ陸軍卿ヘ年々
報告ス

第二 印度事務ノ諸勘定并ニ陸軍諸勘定

ノ事ニ付追々下問ニ答トシテ陸軍
卿ヘ別段ノ報告ヲ出ス

大藏卿ヘ報告ノ件

第一 印度事務諸勘定并ニ陸軍諸勘定ノ
事ニ付追々下問ニ答トシテ大藏卿
ヘ別段ノ報告ヲ出ス

第一 検査頭ヘ報告ノ件

第一 三ヶ年餘結局ノ決算ニ至ラス其役
所ニアル勘定書殘金ヲ年々第一檢
査頭ヘ報告ス

但右ハ検査頭ニテ第三第四精算方并ニ記録頭ヨリ同断ノ報告ヲ取り議院ヘ送致ス

大藏記録頭ヘ報告ノ件

第一ニケ年毎ノ記録ノ為メ其役所ニ用

タル書記生并ニ其他ノ者ハ人名

生國手當等ノ表ヲ作りニケ年毎ニ

大藏記録頭ヘ報告ス

第三精算方職掌畧記并ニ分課ノ事

第三精算方ハ陸軍者會計方ニテ測量道路堀

割炮臺等建築修繕其他軍事ニ關スル造營ニ

付受取りタル金銀并ニ其遣拂ヒレ三ヶ月毎

ノ勘定帳及ヒ賄方輜重方役所等ノ勘定廢疾

并ニ半給養老銀等ノ勘定書類ヲ受取り且前

件ニ關スル局課物品ノ遣拂勘定書ヲモ受取

ルナリ右勘定書類ヲ受取り正算ノ上公書并

ニ報告ヲ添ヘ檢印ノ為メ其原書并ニ證書類

ト共ニ第二検査頭ヘ送致スヘシ茲ニ於テ檢

查頭ハ其報告公文ノ正否ヲ糾シ或ハ之ヲ加
除更改シ而シテ之ニ證明シ精算方ハ返戻ス
ヘシ精算方ニテハ^{之レヲ}其役所ヘ記録シ備置クヘ
シ
第三精算方ハ又律ニ依リ定メタル時限ニテ
養老銀人名録キ取調^ハキ其季ニ當リ養老銀
取扱役所ヘ申立サル鰥寡孤獨ヨリ其養老銀
ノ請求及ヒ養老銀人名録ニアリト虽モ之ヲ
請求セサリシ者ヨリ其養老銀ノ請求或ハ拂
期限ヲ過キ十四ヶ月ノ内ニ會計方ヨリ請取

ラサル者ヨリノ請求其他軍事ニ勤仕セシモ
ノヨリノ請求ヲ受取り其請求ヲ正算更正シ
後チ各件ノ報告公文ヲ添ヘ之ヲ原書ニ證
書類ト共ニ第二検査頭ヘ送致スヘシ然ル時
ハ検査頭ニ於テ其正否ヲ糾シ或ハ之ヲ加除
更正シ之ニ證明シ精算方ヘ差戻スヘシ精算
方ニテハ定例ノ通り之ヲ書留其役所ヘ備置
クヘシ其後精算方ニテハ其為メ設ケタル別
段準備金或ハ不定準備金等ヨリ拂出ス傳票
ノ為メ大藏卿ヘ陸軍卿ヨリ達書ヲ送ルヘキ

為ノ検査頭ニテ承認シタル金高ヲ奥書シ置クヘシ

第三精算方ハ一般内國ノ請求ヲ除クノ外合衆國ノ軍事ニテ損失セシ馬并ニ所有物ノ為平民ヨリ請求スル分ヲ大統領ノ許可ヲ得テ陸軍卿ニテ揭示シタル規則ニ隨ヒ其請求ヲモ請取ルヘシ而シテ其正否ヲ糾シ其原書ト證書類トヲ檢印ノ為メ第二検査頭へ送致スヘシ而シテ検査頭ニテ承認シタル金高ヲ精算方ニテ奥書シ之ヲ第一精算方へ送ルヘシ

第一精算方ハ其正算ニ及ハス之ヲ第一検査頭へ送り第一検査頭ニ於テモ檢算ニ及ハス大藏記録頭へ直チニ其證明ヲ為スヘシ茲ニ至テ記録頭ハ之ヲ其役所へ書留メ保存シ大藏省ニテ外ニ充用セサル金ノ内ヨリ拂出スヘキ傳票ノ手續ヲ為ス為メ其寫ヲ大藏卿へ證明スヘシ

此勘定書類并ニ請求書及ヒ定額金并ニ違書渡シ金仕拂往復書類書留報告其他右計算ニ関スル書記生勤務方等ニ付左ノ分課ヲ設置

セリ各課 = 一人ノ長アリテ各其責 = 任シ又書記生 = 於テモ其長 = 對シ各其責アリ

第一 定額金并 = 達書取調ノ役所

第二 前渡金并 = 殘金取調ノ役所

第三 河海測量 = 関スル勘定ノ役所

第四 建築計算 = 関スル役所

第五 ウエストポイント 陸軍ノ 計算 = 関スル役所

第六 賄方計算 = 関スル役所

第七 輜重方計算 = 関スル役所

第八 養老銀ノ計算役所

第九 請求セサル養老銀計算ノ役所

第十 鰥孤ノ養老銀扶助金請求 = 関スル計算ノ役所

第十一 平民ノ請求 = 関スル計算ノ役所

第十二 州郡ノ請求 = 関スル計算ノ役所

第十三 紛失ノ馬并 = 紛失ノ物品 = 関スル計算ノ役所

第三 精算方ハ尤ノ報告ヲ出ス

第二 検査頭ハ報告ノ件

第一 前條ニ載スル第三精算方役所ニ於テ引受クヘキ諸會計方ノ勘定書ヲ正算ノ上第二検査頭檢印ノ為其轉末ヲ報告ス

第二 平民ヨリノ勘定書并ニ請求書ヲ逐一正算ノ上検査頭檢印ノ為其轉末ヲ報告ス

第三 半給鰥孤ノ請求ヲ正算ノ上検査頭檢印ノ為メ其轉末ヲ報告ス

第四 平民ノ養老銀ヲ受クル者ニテ十四

ヶ月中ニ受取方申出ザル者ノ請求ヲ正算ノ上検査頭檢印ノ為其轉末ヲ報告ス

第五 賄方并ニ輜重方役所ニテ陸軍用ノ為平民ヨリ調達ノ物品或ハ勤務等ノ請求ヲ正算ノ上検査頭檢印ノ為メ其轉末ヲ報告ス

第六 國界并ニウヰルテニヤ 洲海軍へ内亂ノ節國事ニ勤務セシ平民ノ請求ヲ正算ノ上検査頭檢印ノ為其轉末

ヲ報告ス

第七 第三精算方簿記上ノ残金取戻ノ為
ノ訴ヲ起スノ用意セシ諸勘定書類
ヲ報告シ及ヒ大藏省附代訴人用ノ
為決算勘定帳ノ正寫ヲ検査頭へ差
出ス

第八 公金遣拂ヒノ方法ニ隨ヒ其勘定書
ヲ差出サ、ル會計方ノ名前表ヲ三
ヶ月毎ニ議院へ報告ス

第一精算方へ報告ノ件

第一 合衆國軍事ニテ平民ノ失ヒタル馬
並ニ物品請求ハ第二検査頭承認ノ
上尚第一検査頭決算ノ為第一精算
方へ報告ス

陸軍卿へ報告ノ件

第一 千八百十五年第七月一日前準備ノ
為メ取除ケ置クヘキ金高ノ概算ニ
通ヲ認メ年々陸軍卿へ報告ス

第二 第三精算方ノ手ヲ經テ拂フヘキ鰹
孤半給養老銀ノ為メ取除置クヘキ

金高ノ概算ニ通ラ年々陸軍卿へ報告ス

第三 前三ヶ年中差出シタル勘定帳ノ全數ヲ一ヶ年ツ、ニ其負數ヲ區別シ之ヲ陸軍卿へ年々報告ス

第一 検査頭へ報告ノ件

第一 第三精算方役所ニマリテ未夕決算ナラサル勘定書并ニ前年第九月三十日前ノ三ヶ年前ニ返納スヘキ残金アル勘定書ノ報告ヲ第一検査頭

へ出ス

第二 年内勘定書ヲ差出サ、ル會計方士官ノ姓名並ニ前年第九月三十日前一ヶ年前ニ渡シタル金ノ残金勘定ノ立タサル會計方姓名ヲ年々第一検査頭へ報告ス

大藏卿へ報告ノ件

第一 第三精算方役所ニテ前年中使雇セシ書記生并ニ其他ノモノハ人名其雇入ノ時日并ニ各人へ渡セシ給料

高ヲ認メ年々大藏卿へ報告ス

第二 第三精算方役所ノ臨時入費遣拂ノ

仕譯其他渡し先ノ人名買入ノ品名

高并ニ直段ヲ巨細ニ認メ年々大藏

卿へ報告ス

大藏記録頭へ報告ノ件

第一 第三精算方ノ給料、其役所附書

記生并ニ使部等ノ給料ニ取除置へ

キ金高概算ヲ二通ニ認メ年々大藏

記録頭へ報告ス

第二 二ヶ年毎ノ記録ノ為メ前年第九月

三十日迄第三精算方役所ニテ使雇

セシ書記生并ニ使部ノ姓名生國并

ニ年々給料等ヲ認メ記録頭へ二ヶ

年毎ニ報告ス

陸軍卿大藏卿并ニ議院等へ別段報告ノ

件

第一 第三精算方ハ其役所ニ備置ク勘定

書請求書其他之ニ関スル事件ニ付

大藏卿陸軍卿并ニ議院ノ其筋役負

ヨリ 下問アル時ハ 別段ノ報告ヲ出ス

第四精算方職掌畧記并ニ分課ノ事

第四精算方役所事務取扱ヒノ畧記ハ千八百四十二年第一月三十一日大藏卿へ差出シタル書翰ニ明瞭ナリ其書翰ニ曰ク第四精算方役所ニテ正算スヘキ總テノ勘定書ハ合衆國內并ニ外國ニアル海軍用達ノ者新兵徵集方士官海軍養老銀計算方其他海兵輜重方并ニ會計方ヨリ差出スモノナリ右ノ外ニ會計方ニアラスシテ一時其事ノ取扱ヲ任セシモノヨリ差出ス雜種ノ勘定書類ヲ正算スルナリ

○會計方ヨリ差出ス三ヶ月毎ノ勘定書ハ一通毎ニ之ヲ正算スヘシ尤海上ニアル會計方
×勘定帳ノ分ハ此例ニアラス其故ハ遣拂ヲ為スノ場所遠隔ノ地ニアルカ故ニ一航海終
リレ上ニテ一纏ニシ其勘定書ヲ正算スルヲ以テ今日通例トセリ此各種ノ勘定書類正算
×手續ハ細密ニ至ツテハ小異アリト雖モ大體ハ一般ノ手續ニ異ナルヲナシ其勘定書類
ハ第二検査頭ノ承認捺印ヲ取ルナリ
船中會計方勘定書等ヲ取調フルニハ最初拂

出シ帳ト人名録トヲ照較シ其姓名官位并ニ轉免ノ日限ト照合スルヤ否ヤラ見次ニ士官ノ
順席并水夫ノ轉艦帳ヲ以テ俸給ノ割合等拂出シ帳ニ載スル処正シキヤ否ヤラ見ルヘシ
其後士官水夫等ノ願ニ依リ月給ノ内ヲ家族養育ノ為メ残シ置キタル其割合ヲ検査シ之ヲ拂出シ帳ト其當人請取證トヲ以テ比較シ其全額ニ相當スルヤ否ヤラ見ルヘシ

其餘畧之

分課左ノ如シ

- 第一 海軍定額金并違書取扱ノ役所
- 第二 前金渡并ニ殘金取調ノ役所
- 第三 船中會計方勘定書取調ノ役所
- 第四 海軍用達ノ者勘定書取調ノ役所
- 第五 海兵附會計方勘定書取調ノ役所
- 第六 海兵ノ輜重方勘定書取調ノ役所
- 第七 海軍徵集方士官勘定書取調ノ役所
- 第八 橋立水ノ保護方ヲ司ル者勘定書取調ノ役所
- 第九 海軍養老銀計算方ノ勘定書取調ノ役所

役所

- 第十 造船請負方ノ勘定書類取調ノ役所
- 第十一 海軍用諸物品受負方ノ勘定書取調ノ役所
- 第四 精算方ヨリ報告ノ件左ノ如シ
 - 第二 検査頭ニ報告ノ件
 - 第一 海軍省會計方ノ諸勘定書類ヲ調査正算ノ上第二検査頭承認捺印ノ為メ報告ス
 - 第二 海軍省ニ對シ諸請求臨時勘定書調

查精算ノ上第二検査頭檢印ノ為報
告ス

第三 律ノ通り勘定書ヲ差出サ、ル會計
方ノ姓名ヲ第二検査頭へ報告ス

但大藏省規則ニ依リ其^限三ヶ月毎
勘定書正算ノ後三ヶ月ノ内ニ右
報告ヲ差出スヘキナリ

第四 海軍省會計方列負トナリタル殘金
取立方訴手續ノ為メ其勘定書寫ニ
通ラ差出ス

第五 第二検査頭ヨリノ下問ニ隨ヒ大藏
省附代訴人用ノ為メ諸勘定書ノ事
ニ付辨解書ヲ差出ス

海軍卿へ報告ノ件

第一 海軍臨時入費ノ勘定書ヲ年々報告
ス

第二 各海軍會計方勘定書決算濟ノ分ヲ
年々報告ス

第三 海軍士官其他ノ者ノ臨時請求ノ決
算ヲ年々報告ス

第四 海軍病院準備金ノ景況ヲ年々報告ス

第五 海軍士官給料并ニ役金ノ表ヲ年々差出ス

第六 別段備金ノ遣拂ニ勘定書ヲ年々報告ス

第七 海軍養老銀ノ受拂ヲ報告ス

第八 私船養老銀受拂ヲ報告ス

第九 役所用上木入費ヲ報告ス

第十 海軍省下問ニ答トシテ諸雜事ヲ報告ス

告ス

第十一 生捕ノ亜弗利加人并ニ賣奴商業ノ防制ニ関スル入費ヲ報告ス

大藏卿へ報告ノ件

第一 精算方役所ニ雇ヒタル書記生ノ人負雇入ノ時日并ニ各人ノ俸給ヲ年々報告ス

第二 大藏卿并ニ議院ノ下問ニ依リ諸雜事ヲ報告ス

第一 検査頭へ報告ノ件

第一 第四精算方役所ニ備置金銀出納簿
上三ヶ年以上殘金不納ノ廢ヲ年々
報告ス

大藏記録頭ニ報告ノ件

第一 年々第十月一日ニ於テ翌年中精算
方役所入費トシテ議院ニテ取除ケ
置クヘキ金額ノ概算ヲ報告ス

第二 二ヶ年毎ノ記録ノ為メ精算方役所
ニテ使役セシ士官等ノ姓名生國并
ニ俸給等ヲ二ヶ年毎ニ報告ス

天運省省長
課長

第五精算方職掌畧記并ニ分課ノ事

第五精算方ニテ現今為ス所ノ職掌ハ專賣免
許事務取扱長官ヨリ差出^ス專賣免許手数料勘
定書并ニ内務省驛通省及ヒ專賣免許取扱役
所等ノ入費ノ内臨時費勘定書ノ正算ヲ為シ
第一検査頭ニ報告スルナリ且外務其他總テ
外國交際上ニ関スル勘定書ノ正寫ヲモ第一
検査頭ニ報告ス

第五精算方ハ大藏卿ノ指揮ヲ奉シ其設クル
所ノ規則ニ隨ヒ合衆國燈臺ノ長官ヲ兼任シ

之ニ関係スル諸事件ヲ取扱フナリ其職務ハ
 専ラ燈臺維持ノ為入用ノ概算ヲ取調ヘ各所
 ニ在ル集稅方ニテ燈臺長官ヲ兼任シタルモ
 ノト其寮ニ関係ノ事務ニ付往復ヲ為シ或ハ
 買上品、建築、營繕等ノ約定ヲ為シ其約定ノ趣
 ニ隨ヒ代人ヲ以テ其事務ヲ檢査セシムル等
 ノ事ニ管司ス而シテ又其約定等ノ三ヶ月毎
 ノ勘定書ヲ集稅方ヨリ受取り右ヲ一應取調
 へ正算ノ為第一精算方へ送致ス且又其事務
 取扱ノ集稅方渡シノ為入費金受取ノ達書ヲ

大藏卿へ差出ス等ノ事務ヲ取扱フナリ
 第五精算方ハ燈臺事務並ニ其役所ニテ管司
 スル勘定書類ノ書留ヲ其役所ニ備置クヘシ

分課

第一 專賣免許手数料ノ歲入計算ニ関ス
 ル役所

第二 臨時遣拂ノ計算ニ関スル役所

第三 外國交際ノ計算ニ関スル役所

第四 燈臺事務管司ニ関スル役所

勘定書類正算并ニ燈臺寮管司ニ付第五精算

方ヨリ報告スヘキ件

第一 第五精算方役所ニテ引受ノ勘定書類差列等正算ノ上證書類ヲ添ヘ其證明書ト共ニ検査ノ為第一検査頭ヘ報告ス

第二 燈臺一般ノ景況ヲ年々大藏卿ヘ報告ス

第三 下向ニ依リ其時々燈臺ニ関係ノ事件ヲ議院ヘ報告ス

第四 燈臺保存ノ為其概算ヲ年々大藏記

録頭ヘ宛報告ヲ出ス

第五 一ヶ年分ノ其役所ノ臨時入費並ニ俸給ノ概算ヲ記録頭ヘ宛テ報告ヲ出ス

第六 二ヶ年毎ノ記録ノ為前二ヶ年間其役所ニテ使雇セシ人名、生國、任所並ニ俸給ヲ認メ記録頭ヘ宛テ報告ヲ出ス

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第六精算方

此役所ハ大藏卿并驛通卿ノ指揮ヲ受ケ賦通
省ノ計算ノミヲ專務トス故ニ總テ畧之

大藏卿ハ頭字
早吉
字一六

大藏經